

2012年8月23日

タイカンチャナブリ県トイレ建設プロジェクト（平出基金より）
現地視察報告

湯澤 麻由実

昨年（2011年）、FFACの要請に応じて、タイの西部のカンチャナブリ県の少数民族の居住する村にトイレを建設するため、平出基金より支出をしました。2012年8月12日、13日に訪泰し、2箇所のトイレを視察しましたので、ご報告いたします。

2箇所ともに、FFACが教会とのつながりで知った司祭の助言を基に選定がなされました。貧しいためにトイレを作る費用のない村で、かつては家周辺の茂みの中で用を足していたため衛生状況が悪く、これを改善することが目的とされました。

1つのトイレはBHT 20,000（約JPY 50,000）で建設され、この費用が平出基金からの支出となっております。

1、Mooban Tao Tan Huaykayeng Precinct, Thaongpapoom District

- ・ 6人家族の住む家の裏に建設。近隣の5家族（2～6人暮らし）と共同で使用。
- ・ 当方も使用してみましたが、とてもきれいで臭いもせず問題なく使うことができました。
- ・ 住人に話を聞いたところ、トイレができたことにより、病気が蔓延する危険性が減少し、衛生状況が改善されたとのことでした。
- ・ 建設時にトイレ内に水浴び用の貯水場も提案をしたものの、この家の裏には川があり、そこで水浴びをするため必要ない、と住人のニーズが尊重されたとのことです。（使用される方々のニーズを一番にして建設した、とのことでした。）



雨で道がぬかるみ、車が入れず、徒歩で村まで向かう



家の奥にトイレ



家と川の間トイレ



水浴びと洗濯をする川（雨の為濁っていた）



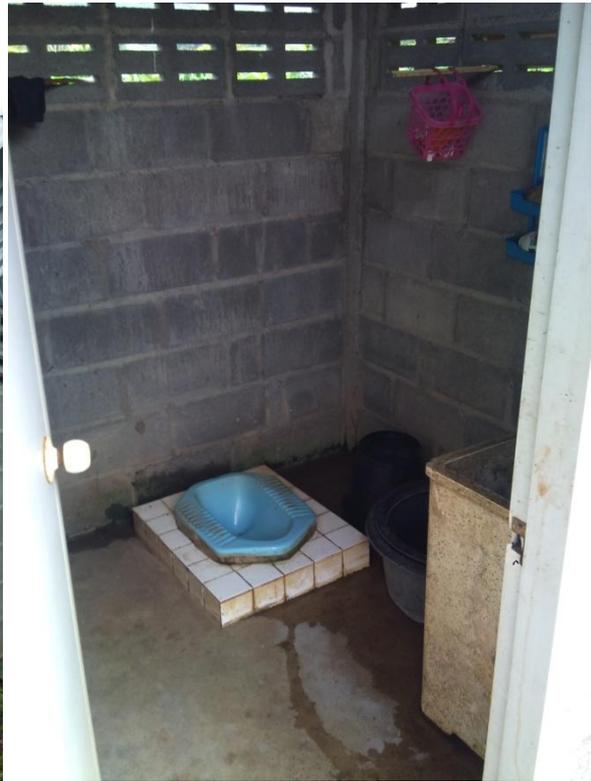
トイレはブラシ・洗剤もあり、清潔に使用されている

2、Nang Hoya, Ban Bongtee Village, Sai Yok District

- ・ カレン族・モン族・ビルマ人の住む村で、キャッサバ農家の裏に建設。
- ・ 周辺に家は見えず、キャッサバ畑で仕事をする方々（約 10 人）が共同で使用。
- ・ 周辺に川はなく、1のトイレとは異なり、水浴び用の貯水場を設置。
- ・ 1のトイレと同様、とてもきれいに使用がされておりました。



この家の裏にトイレ



1のトイレとは異なり、水浴び用の大きな貯水場がある

以上、簡単ではありますがご報告をさせていただきます。